

【 会員のページ 】

2012年第15回ICTAC開催について

ICTAC (International Confederation for Thermal Analysis and Calorimetry) の開催史は **Table 1** に示したように、以前はICTA (International Confederation for Thermal Analysis) と称されていましたが、1988年から現在のようにCalorimetryも加えてICTACとなり、日本語も国際熱測定学会となっています。日本では1977年8月1日から8月6日まで、大阪大学の關集三先生が会頭となって第5回国際熱分析会議が国立京都国際会議場で開催されました。初めてのアジアでの開催で、予期以上の盛会の詳細が本誌に報告されています。リ 關集三先生、神戸博太郎先生を中心に日本開催が成功してからすでに30年以上も経過しており、その間わが国では毎年300人以上が参加して熱測定討論会が活発に開催されてきました。また、アジアでは關先生や菅先生と中国の胡先生のご努力により、日中および国際熱測定シンポジウムが既に7回も開催されています。ヨーロッパのESTAC (European Symposium on Thermal Analysis and Calorimetry) やNATAS (The North American Thermal Analysis Society), CALCON (Calorimetry Conference) などと質、量ともに肩を並べると言っても過言でないほど活発な研究が行われています。そのような観点から、ICTACのアジアでの開催が長いあいだ期待されてきました。2004年に中国での開催の機会がありましたが、諸般の事情で逸したとうかがっています。そこで2004年イタリアで第13回ICTACが開催された折、2008年の日本での開催に向けて立候補がなされました。しかしブラジルと競合することになり、機会均等の精神に則って未だ一度も経験していない南半球での開催が決りました。この会議は2008年9月14日から9月18日、São PedroでJ. R. Matos教授を会頭としてブラジル熱測定学会と同時開催で進められました。この間、国内外から多くの先生の声があり、今回ブラジルでのICTAC幹事会で2012年の

Table 1 ICTACの歴史

1965	1st ICTA	Scotland	UK
1968	2nd ICTA	Worcester	USA
1971	3rd ICTA	Davos	Switzerland
1974	4th ICTA	Butapest	Hungary
1977	5th ICTA	Kyoto	Japan
1980	6th ICTA	Bayreuth	F R Germany
1982	7th ICTA	Kingston	Canada
1985	8th ICTA	Bratislava	Czechoslovakia
1988	9th ICTA	Jerusalem	Israel
1992	10th ICTAC	Hertfordshire	UK
1996	11th ICTAC	Philadelphia	USA
2000	12th ICTAC	Copenhagen	Denmark
2004	13th ICTAC	Chia-Laguna	Italy
2008	14th ICTAC	São Pedro	Brazil
2012	15th ICTAC	Osaka	Japan

第15回ICTAC開催に向けて、再度の立候補を表明しました。今回はアメリカと競合することとなりましたが、ヒアリングでの、準備状況、關先生、菅先生、小澤丈夫先生とのICTACでの活躍の実績と小椋理子先生(ソニー湘北短大)のプレゼン力から多くの票をいただき、大阪での開催が採択されるに至りました。2012年に向けてLocal chairとして多くの先生方にご協力を頂きながら、準備を進めております。会員の皆様方の力強いご協力のほど、よろしくお願いいたします。

(近畿大学 木村隆良)

文 献

- 1) 熱測定 **4**, 177 (1977).